

<イエメン事業> 「イエメン事業を支える現地スタッフとの会議を実施」



ICAN 東京事務所
北島 美聡
～プロフィール～

大学卒業後、小学校教員、青年海外協力隊及び公益社団法人での勤務を経て、2018年5月より現職。

アイキャンでは、イエメン紛争が激化した2015年から、イエメンで活動する唯一の日本生まれのNGOとして、食糧不安に喘ぐ延べ30万人を超える人々に食糧提供を実施してきました。日本人スタッフにはイエメンへの渡航制限がある中、実際の現地での活動は、アイキャンイエメン人スタッフ及び提携団体の協力によって成り立っています。信頼できる現地スタッフがいるからこそ、情勢不安が続くイエメンでの活動を続けることができています。そんな彼らと、2020年2月、初めて対面での会議をマレーシアにおいて実施することができました。

会議では、現在実施している事業について詳細な打合せをすると共に、ニュース等では拾えないイエメン国内の情勢やNGOの活動を取り巻く状況の変化等、細かい部分まで情報共有することができました。提携団体とは、今後のイエメンにおける活動の連携の可能性を模索しつつ、日本国内に限らない幅広い資金獲得に向けた話し合いをしました。また、報告書作成等の内部研修も実施し、4日間の会議はあっという間に終わってしまいました。

イエメンで活動を開始して以来、現地スタッフとの直接対面の会議を計画したことは何度もありました。しかし、戦闘の激化や開催を想定していた第三国におけるイエメン人へのビザ発給が停止する等して、実現できていませんでした。これまで、日本とイエメンの遠隔事業だからこそ、現地スタッフとの連絡は綿密に行ってきましたが、現地のインターネット環境の悪化により思うように連絡がとれなかったり、メールや電話だとしてもうまく伝わらないニュアンスがあったりと、特にコミュニケーションの点で、もどかしいと感じるときも多々ありました。また、文化や意見の違いから、「何でわかってくれないんだろう」と互いに感じることもあったと思います。だからこそ、これまで共に活動してきた仲間と直接会って話し、それぞれの想いに直に触れることができたことは、何にも代えがたい貴重な経験となりました。



同時に、国を超えて「イエメンのために何かしたい」という同じ志をもった仲間がいることはとても心強いことだと感じました。

残念ながら、イエメンにおいて紛争が終結する兆しはまだありません。イエメン紛争激化以来、世界で最も困難なイエメンの人々に寄り添い続けてきたアイキャンとして、今後も引き続きあらゆる形でイエメンへ貢献できる方法を模索し、現地のスタッフと共に活動を続けていきます。

ある日のスケジュール

- 8:30 事業進捗確認・各種フォロー
- 10:00 事業費送金準備
- 11:00 イエメン事業ミーティング
- 13:00 助成金申請準備
- 15:00 現地からの各種報告書確認
- 16:30 会計資料確認
- 17:30 帰宅

ジブチ事業

2月22日/アリアデ(ジブチ)

アリアデ難民キャンプにおいて「子ども議会」を開催



アリアデ難民キャンプにおいて、子ども25名による「子ども議会」が開催されました。日頃のカウンセリング結果を踏まえ、悩みを抱えることが多かった「対人関係」がテーマになりました。「友人にNoと言えない時がある」や「仲間外れにされないかと心配になることがある」等の不安や恐れが共有され、最終的には「色々な不安をみんなで共有したことにより、恐れすぎる必要はないのだと感じた。」等の感想が聞かれました。

ボランティア・寄付活動推進事業

2月15日/大阪

フィリピンの路上のこどもたちを応援する街頭募金活動



大阪・梅田において、「フィリピンの路上のこどもたちを応援する街頭募金活動」を実施しました。今回は、留学生を含む学生ボランティアを中心にご協力いただきました。事前の打ち合わせでは、留学生もいたことで参加者同士の興味も高まり、活発な交流ができました。初めて参加したフィリピン人の高校生は「フィリピンには本当にたくさんの子もたちが路上にいる。少しでもサポートしたい。」と意気込みを語ってくれました。

フィリピン事業 (マニラ・路上)

2月18日/マニラ(フィリピン)

児童養護施設「子どもの家」へ1名入所



子どもの家に新たに1名が入所しました。隣町で物乞いをして路上生活しているところを保護され、入所へと繋がりました。現在は4月からの新学期に向けて、アルファベット等の学習をしながら、他の子どもたちや寮母と共に生活しています。

ジョンくん(仮名)は「子どもの家の大きな庭で遊ぶのが一番好きです。三食おいしいご飯が食べられて、快適なベッドで眠れることにとても感謝しています。」と話してくれました。

能力強化事業 (NGO 相談員)

2月/大阪・静岡

大阪・静岡のイベントへ NGO 相談員として参加



大阪で開催された「ワン・ワールド・フェスティバル」及び、静岡において「はままつグローバルフェア」に NGO 相談員として参加しました。学生や教員等、多くの方が訪れ、2つのイベントで計26名からの NGO やボランティアに関する相談を受け付けました。年配の男性からは、「ODA(政府開発援助)がどのように使われているのか知れて、関心が深まった」との声をいただきました。